

小さな1円で大きな活動！

ひと口1円基金事業私はH22年、渡辺和子先生のCD講話集の中に遠藤順子先生のエッセイと円ブリオ基金の記事を見つけ、趣旨に賛同し、早速活動に参加しました。

最初に以前ある研究会で御一緒したことのある「介護者きずなの会」の望月会長を訪ね、ご理解を頂きました。それ以降妻と二人三脚で、社会福祉協議会や市健康づくり推進課等を訪問し、医師会や産婦人科医院を紹介頂きました。県立大学学長、国会議員や県・市議員にもご縁を頂き、県助産師会会長と共に小学3年生130人と父兄に「いのちのお話」をし、児童から命の大切さ、お父さんお母さんへの感謝、友達への思いやり等素晴らしい感想が届きました。また、FM静岡等ラジオ3局で出張放送をしたり、静岡新聞・中日新聞に記事を掲載して頂きました。役所等にポスターとチラシを貼って貰い、病院、お店、美容室、事業所、友人の家等100ヵ所以上に設置をお願いしました。基金箱は、牛乳パックを和紙で包んだ手作りのもので、お菓子屋さん等お店には、その店の包装紙を使わせて頂いています。また、2ヵ月に一度のワン&オンリー会も、自治会館で開催しています。

昨年度の出生数は86万4千人と90万人を割り、少子化対策は国の最重要課題です。円ブリオ基金は、小さな1円の活動で、地味だが素晴らしい仕事であり、この国の為には大きな活動です。80代を迎え、夫婦でやる最後の務めだと思って、小さな命のために尽くし、静岡でもみんなで赤ちゃん誕生を喜ぶ町をめざしたいと思います。

(静岡 鈴木健仁・富美子さん)

